



ラ・ソーラ牧落 カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
				1  お笑い鑑賞	2  音楽鑑賞	3
4	5  往診	6  プラネタリウム	7  歯科 & 往診	8  映画鑑賞	9  カラオケ	10  往診
11	12  往診	13	14  歯科 & 往診	15  お笑い鑑賞	16  折り紙教室	17
18	19  往診	20  音楽鑑賞	21  歯科 & 往診	22  カラオケ	23  折り紙教室	24  往診
25	26  往診	27  懐メロクラフ	28  歯科 & 往診	29  書道	30  折り紙教室	31

七夕とは

織姫（おりひめ）さまと彦星（ひこぼし）さまが天の川を渡って、1年に1度だけ会える7月7日の夜のこと。短冊に願い事を書いて、笹竹に飾り付けます。

「雨が降ると天の川が渡れない」ともいわれて、てるてる坊主をつるした人も多いのです。かつては旧暦の7月7日だったので、現在でいうところの8月上旬～下旬ごろ。昔は晴天率の高い行事だったのです。

国を超えて広く伝わる織姫と彦星のお話には、いろんなバリエーションがありますが、以下の内容はほぼ共通しています。天帝（神様）の娘である織女は、機織りが上手で働き者の女性。天帝は、同じく働き者で牛飼いの牽牛と引き合せました。二人はひと目で恋に落ち、結婚しました。ところが結婚すると遊んでばかりで、働くなくなるという結果に。怒った天帝は二人を天の川の両岸に引き離しましたが、織女が泣いて悲しんだため、年に1度、七夕の夜にだけ会うことを許すようになった…というあらすじです。

